

Column

男女ともに考える
育児と介護

吉沢 豊予子
医学系研究科
保健学専攻
教授



今の時代「男性は仕事、女性は家庭」という古典的性別役割を示す用語は死語になりつつある。女性活躍推進に伴い共働き世帯割合は半数を超えた。家庭と仕事の両立をスマートにできるスーパーワーキングマザーはほんの一握りであり、大多数はオーデナリー(普通の)ワーキングマザーである。そうすると、男性も育児と介護を引き受けざるをえなくなり、「ケアの再割り当て」が今起こっているとも言える。

確かに、ここ数世紀、育児や介護というケアは女性の仕事であり、女性によるケア提供モデルが展開してきた。その状況で、突然「ケアの再割り当て」によって男性に割り当てられても男性は困惑し、たじろぐばかりである。あげくの果て回避行動をとる男性も少数ではあるが出てくるかもしれない、あるいはスーパーワーキングファーザーになる男性もいるかもしれない。

そこで提案であるが、男性による男性のためのケア提供モデルを構築してほしいと考えている。その手がかりを最近文献で見つけた。男性性とケアの融合である。ケアすることの意味を男性視点から見出すことが「ケアを担う」責任に繋がっていくことになるだろうと考える。そこからである。ジェンダー平等による男女ともに育見と介護は。

Award

工学系女性研究者育成支援推進室(ALicE)が
内閣府「平成28年度 女性のチャレンジ支援賞」を受賞



工学系女性研究者育成支援推進室(ALicE)では、女性が極めてマイノリティである工学系分野において女性研究者の活躍推進・男女共同参画意識醸成のための各種活動を継続し、次世代育成のための工学魅力の発信、育児・社会貢献との両立のための支援要員派遣やベビーシッター利用料等補助を行っております。さらに静養室(男・女)の整備や学会等の際に一時託児スペースとして利用できる託児室の新設を実現しました。

以上のような取り組みが、学内にとどまらない工学系女性研究者の研究環境整備として評価され、内閣府「平成28年度 女性のチャレンジ支援賞」の受賞に至りました。

プレスリリース:<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/06/press20160623-02.html>

※女性のチャレンジ賞・女性のチャレンジ支援賞
各種活動にチャレンジして活躍する女性やそれを支援する団体・グループを顕彰することで女性のチャレンジの身近なモデルを示し男女共同参画社会実現の機運を高めることを目的として、内閣府男女共同参画局が平成16年度から実施している表彰。

Report of the Seminar

沢柳フェローランチミーティング 9月2日(金)



講師に栗原和枝教授(多元物質科学研究所)をお迎えし、女性リーダー育成の一環として、外部資金獲得のための情報交換を目的とした沢柳フェローランチミーティングを開催しました。

第3回TUMUG Cafe 10月5日(水)



話題提供者として福與なおみ助教(東北大学病院・遺伝科/遺伝子診療部(兼小児科))をお招きし、「どうやって作る?自分の時間…」と題して「第3回TUMUG Cafe」を開催しました。

Activities

センター関係者による学内外での活動状況

(2016年6月~10月)

- 大隅 典子(副センター長)
8月27日 生化学若い研究者の会主催 第56回生命科学夏の学校シンポジウム「これからの「多様性」の話をしよう -多様性社会を生き延びるための〇〇-」登壇
- 9月3日 お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構 第2回シンポジウム「子どもがサイエンスに目覚めるとき -多くの女性が理系に進むために-」にて「リケジョの活躍が日本を救う!」講演
- 田中 真美(副センター長)
8月19日 平成27年度サイエンス・リーダーズ・キャンプ「革新的な未来を拓く医工連携人材育成の現場」にて「理工系女性研究者育成支援の取り組み」講義
- 9月27日 「女性と留学生のためのキャリア」にて「東北大学的女子学生と女性研究者への支援について ~支援を利用した私の育見と研究~」講演



2016
VOL. 7

「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(団結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして拡がっていくことを目指しています。



第1回ETF会議の様子

- 01 ▶ 東北大学が平成28年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択
- 02 ▶ 「社の都女性研究者エンパワーメント推進事業」の特色
- 03 ▶ 男女共同参画シンポジウム
▶ 第2回 TUMUG Forum
▶ 平成28年度 東北大学サイエンス・エンジェル(SA)活動報告
- 04 ▶ コラム:吉沢 豊予子教授

東北大学が平成28年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択

東北大学の「社の都女性研究者エンパワーメント推進事業」が、平成28年度文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択されました。この事業は研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出につなげるため、女性研究者のライフイベントとワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や、研究力向上のための取組、および上位職への積極採用に向けた取組を支援するものです。



実施責任者 兼
女性研究者エンパワーメント
タスクフォース(ETF)座長
大隅 典子

総長特別補佐(男女共同参画担当)、
男女共同参画推進センター 副センター長、
医学系研究科 教授、
附属創生応用医学研究センター長

「社の都女性研究者エンパワーメント推進事業」では
以下の6つの取組を行い
ダイバーシティ研究環境の実現を目指します。

- 1 推進体制の確立
女性研究者エンパワーメントタスクフォース(ETF)および外部アドバイザーボードの設置、調査実施等
- 2 女性研究者の採用と上位職への積極的登用に向けた取組
- 3 ダイバーシティ研究環境整備のための取組
新しい支援制度の検討・実施、TUMUG支援事業募集要項等の英語化等
- 4 女性研究者の研究力向上およびリーダー育成の取組
URAによる女性研究者に特化した研究費獲得と共同研究のための情報収集・連絡調整等
- 5 次世代の女性研究者育成の取組
東北大学サイエンス・エンジェル、女性研究者によるキャリアセミナー開催等
- 6 ダイバーシティ研究環境整備に関する意識醸成と広報活動
キックオフシンポジウム、管理職セミナー開催等



女性研究者
研究風景

東北大学男女共同参画推進センター
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail tumug@morihime.tohoku.ac.jp
HP www.morihime.tohoku.ac.jp

HP facebook



「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」の特色

各キャリア段階にあった多様な取組により女性研究者の研究業績向上および女性リーダー育成に寄与する仕組みを構築します。

- 上位職への採用と登用
- 女性研究者に特化したURAによる研究力向上と研究遂行支援
- ライフイベントが障害にならない研究環境整備



「推進します。東北大エンパワーメント」

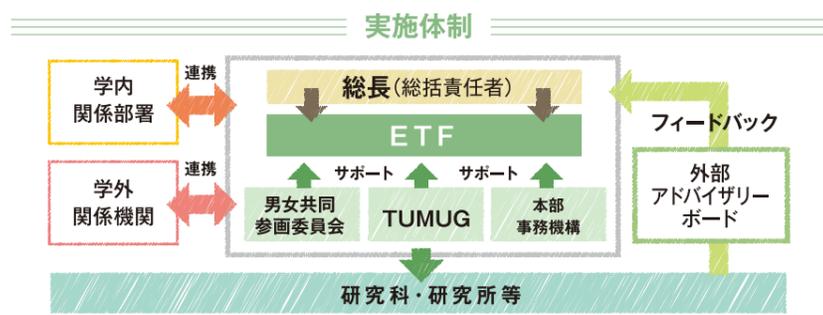


世界トップリーダーへ!

女性研究者研究風景

女性研究者エンパワーメントタスクフォース(ETF)

ダイバーシティ研究環境整備に向けた取組を行う本事業は、総長の下に組織する「女性研究者エンパワーメントタスクフォース(ETF)」(座長:大隅典子総長特別補佐(男女共同参画担当))が中心となり、男女共同参画委員会および男女共同参画推進センター(TUMUG)と一体となって行います。



- ETF member**
- 座長 大隅典子 (男女共同参画推進センター 副センター長 医学系研究科 教授)
 - 米永 一郎 (男女共同参画推進センター 副センター長 金属材料研究所 教授)
 - 田中 真美 (男女共同参画推進センター 副センター長 医工学研究科/工学研究科 教授)
 - 才田 いずみ (文学研究科 教授)
 - 中村 美千彦 (理学研究科 教授)
 - 川崎 亮 (工学研究科 教授)
 - 牧野 周 (農学研究科 教授)
 - 村上 斉 (情報科学研究科 教授)
 - 永次 史 (多元物質科学研究所 教授)
 - 保坂 雅子 (男女共同参画推進センター 助教)
 - 齋藤 仁 (総務企画部 部長)
 - 佐藤 誠 (人事企画部 部長)

外部アドバイザーボードの設置

(50音順)

事業および本学における男女共同参画の取組全体の妥当性および進捗状況に関する専門的かつ中立的な立場からの助言を受けることができるように、外部有識者にアドバイザーボード委員となっていただいています。

- 梅田 恵氏 (日本アイ・ピー・エム株式会社 人事ダイバーシティ企画担当部長)
- 鹿島 敬氏 (一般社団法人 女性労働協会会長兼専務理事)
- 東村 博子氏 (名古屋大学副理事(男女共同参画担当))
- 宗片 恵美子氏 (特定非営利活動法人 イコールネット仙台代表理事) 他

「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」実施に係る女性研究者支援制度



補助金により、3つの新しい制度を実施することになりました。平成29年度の募集は、1月下旬頃の前定です。

- 追加された制度(女性のみ)
- 両立支援**
C型:研究支援要員制度
大学院生もRA・AAとして雇用できます。
- 女性リーダー育成**
「科学研究費助成事業」フォローアップ制度
科研費に採択されなかった人の研究費を支援します。
- 国際学術論文作成のための英文校閲費用補助制度**
今回は12月募集予定です。
詳細は本センターのホームページをご覧ください。
<http://www.morihime.tohoku.ac.jp/diversityensei/>

Event Information

キックオフシンポジウム・第1回管理職セミナー開催

日時:平成28年12月19日(月) 15:00~17:00
場所:東北大学 片平キャンパス 知の館3F

「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」採択を記念して、部局長および事務(部)長を対象としたキックオフシンポジウム・第1回管理職セミナーを開催します。

- 基調講演 東村 博子氏 名古屋大学副理事(男女共同参画担当)
- 梅田 恵氏 日本アイ・ピー・エム株式会社 人事ダイバーシティ企画担当部長 他
- 事業概要説明 ● 取組紹介 他

多数のご参加をお待ちしております

TUMUG Forum

第2回TUMUG Forum ~女性研究者研究発表・交流会~開催

日時:11月8日(火)9:30~13:00
場所:東北大学 星陵キャンパス 星陵オーデトリウム 大会議室

● 発表者一覧
大坪 和香子 (農学研究科 助教)
朱 琳 (国際文化研究科 講師)
妙木 忍 (国際文化研究科 准教授)
簡 梅芳 (環境科学研究科 助教)
朱 慧娥 (多元物質科学研究所 助教)

● 沢柳フェローによる講演
「時計回りの器官形式を支える集団細胞移動」
倉永 英里奈 (生命科学研究科 教授)

教職員 大学院生・学生 男女問わず 是非ご参加下さい!

Symposium

男女共同参画シンポジウム「男性性を問う」

日時:平成29年1月29日(日) 13:00~17:00
場所:東北大学 星陵キャンパス 星陵オーデトリウム

男女共同参画の推進とは、女性が既存の男性社会に参入し適応することでなく、男性社会そのものを変革する試みであるはずですが。本シンポジウムでは、既存の社会をリードしてきた男性の特性(男性性)をとりあげ、現代社会において男性はどのような男性性に絡めとられているのか、既存の男性社会に変革の可能性はあるのかをディスカッションします。

- 特別講演
講師

安富 歩氏 (東京大学 東洋文化研究所 教授)
- パネルディスカッション
「男性標準」社会を問い直す
パネリスト

多賀 太氏 (関西大学 文学部 教授)

田中 俊之氏 (武蔵大学 社会学部 助教)
- コーディネーター
朝倉 京子 (医学系研究科 教授 東北大学男女共同参画委員会委員)

澤柳記念賞授賞式および受賞講演

第3回 澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞

受賞:名古屋大学男女共同参画室
課題名:大学における男女共同参画推進事業のモデル化による国際的拠点化

澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞(通称:澤柳記念賞)とは
東北大学では平成26年に澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞(通称:澤柳記念賞)を創設しました。本賞は男女共同参画社会をめざす活発な取組の一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し、多大な貢献をされた方々を選考し顕彰するものです。

詳細は12月下旬、男女共同参画委員会ホームページをご覧ください。
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danijo/index3.html>

平成28年度 東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動

自然科学系女子大学院生が次世代のロールモデルとして、小中学生やその保護者・教師、特に理系進学に興味を持つ女子中高生を対象に科学の魅力と研究のおもしろさを伝える活動をしています。

本センター共催セミナー

- 9月27日実施
女性と留学生のためのキャリア
東北大学高度教養教育・学生支援機構
キャリア支援センター高度イノベーション博士人財育成ユニット
- 10月15・16日実施
明日をソゾウするあなたへ~女性科学者への道案内~
東北大学知の創出センター

副センター長である大隅典子先生と田中真美先生が5名のSAと参加しました。

● SA活動実績

7月 17日	学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2016
19日	母校出張セミナー 宇都宮海星女子学院中学校・高等学校
27・28日	オープンキャンパスfor女子高校生2016
8月 6・7日	2016夏休みサイエンススクエア
18日	出張セミナー 山形県立山形北高等学校
23日	楽しい理科のはなし2016
9月 7・15日	SA研修
9・10日	出張セミナー 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校
17日	出張セミナー 山形県立山形東高等学校
23日	母校出張セミナー 大阪四天王寺高等学校
10月 15日	出張セミナー 山形県立山形西高等学校
10月 22日	SAセミナー for 山形県立山形西高等学校

入場無料・事前申込不要
どなたでもご参加いただけます!